



同窓会の紋章

双々丘

題字・石山荷心さん（山城14回）

2020年2月28日

14号



二人展「風」

今号の表紙口絵は、初めて二人の作家の作品を合成したものとなりました。

ともに山城高28回卒の稲垣明子(亜希)さん(墨絵・日本画)と近藤陽子さん(陶・イラスト)が、10月に初の試みとしての二人展を、「ギャラリーH2O」(富小路三条上ル)で開かれた時の案内状の画像で、パステルトーンの花が稲垣さんの日本画、前に並んでいるネズミたちが近藤さんの陶芸作品です。

同学年で親しい間柄でありながら、互いの創作活動についてはよく知らなかったというお二人、数年前の同窓会で話が盛り上がり、時間をかけて、今回の「風」をテーマとした展示会につながりました。作品の一つひとつを紹介できないのは残念ですが、これからも互いに研鑽し、同窓生ならではのコラボレーションも続けていきたいとのことです。



「チーム京三中・山城高」の 絆・さらに

京三中・山城高同窓会 会長 渡部 隆夫

京三中・山城高同窓会の皆様、
こんにちは。時代は新しく「令和」
となり、百十余年を経過した同窓
会、日頃よりご理解、ご支援をい
ただき、心より感謝申し上げます。

さて、平成三十一年三月、十七
年ぶりに「会員名簿」が発行され
ました。その名簿を活用し、卒業
年度毎の同窓会を開催され、同期
の絆が深まったとの喜びの声をい
ただいております。

名簿整備が完了したのを機に、
同窓会役員が相談を重ね、この度
同窓会報「双ヶ丘」を会員全員、
約二万五千名近くの方々に配布す
ることに決定し、今回の「双ヶ丘
第十四号」より実行することが出
来ました。

少子化といわれる時代の中で、
公立高校で府下随一の一千名を超
える在校生を有し、母校の教育ビ
ジョンである「グローバル社会で
活躍できる力を育み、将来、様々
な分野で社会に貢献する人間を育

成する」ことを、学校の使命と捉
えて発展成長している母校の姿な
どを、同窓会活動と共に会員の皆
様にお伝えして行きたいと思っ
ております。

また同窓会の協力で開催されて
います「山城高校二十一世紀塾」
は文理融合を目指して、ハイレベ
ルな文武両道にチャレンジし、人
間探究、人間力を大いに鍛えら
れるという活動の一端もご紹介したいと
考えています。

母校には学校を愛する心や伝統
を大切にすると共に、新しい道
を切り開いていくパイオニア精神
「山城スピリット」が息づいていま
す。教職員、在校生と共に同窓会
会員ひとり一人が「チーム京三中・
山城高」の一員として高め合い、
生涯にわたって絆でつながってい
る、そのような同窓会であり続け
たいと願っております。これから
も会員の皆様のご支援をよろしく
お願いいたします。



進化し続ける伝統校・ 京都府立山城高等学校

校長 細野 吾

京三中・山城高同窓会の皆様には、
御健勝で御活躍のこととお喜
び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動に深い
御理解と温かい御支援を賜り厚く
お礼申し上げます。

本校は、2019年度も府教委
から「グローバルネットワーク京
都」の指定事業を受けております。

これも、同窓会の皆様からの御支
援を受けて実施させていただいて
おります「ドイツの姉妹校との交
流」などの取組が評価されたもの
と思っております。10月のドイツ

の姉妹校からの訪問時におきま
しても、多大な御支援をいただき、
さらに、渡部会長様のお取り計ら
いで、「桜鶴苑」において、ユネス
コ無形文化遺産である「和食」を

体験させていただきました。姉妹
校の先生方・生徒たちも本当に喜
んでおりました。本当にありが
うございました。

また、本校は、来年度から単位

制の高校に移行します。「山城の単
位制」は、学年制を基本としなが
らも、生徒の興味・関心や進路希
望に応じて、より高度な学習を行
う「自由履修科目」などを学習す
ることができ、これまで以上に、
個々の生徒が進路目標を達成でき
ると考えております。

さらに、普通科生徒のグローバ
ルな視野の拡大に繋げるため、海
外(台湾)を含めた選択制探究型
研修旅行を行うことにしました。

今後とも、教職員が丸とな
り、光輝ある山城高校の伝統をさ
らに充実させる決意で臨んでまい
ります。今後とも皆様の変なぬ
御支援・御協力をお願い申し上げ
ます。

結びに、京三中・山城高同窓会
の益々の御発展と皆様の御多幸・
御健勝を祈念いたしまして御挨拶
とさせていただきます。

後期高齢者 突入同窓会

山城高15回
同窓会幹事

岩田 勲

3年ぶりの同窓会を令和元年6月8日に行いました。参加者は102名（恩師1名、男性66名、女性35名）アメリカから鈴木修一郎君が、スイスからBartas（湯浅）綾子さんが参加していただきました。今回はまた恩師の森貞男先生の「米寿祝い」を兼ねて行いました。司会者は今回も谷口明君と阪本悦子さんの素晴らしい司会で始まりました。嬉しかった事は昨年11月有志で1泊2日で山代温泉に旅行に行った帰りに林康文君がクモ膜下出血で倒れ、一時は生死の境をさま迷っておられました。奇跡的に元気を取り戻し、遠く函館から元気に参加していただき壇上に上がり彼の恒例の「エールの交換」を披露してくれました。又サプライズでは青合幹夫君の叙勲祝い（昨年受章）、和崎信哉君の叙勲祝い（本年受章）と我々の仲間からの受章を祝いました。反面100名近くの方が逝去されたり住所不明の方がおられ、毎回仲間が減りつつあります。次回3年後（2022年6月予定）我々の「喜寿祝い」「卒業60周年記念大同窓会」での再会を誓い閉会をしました。この記事を読まれた方はもちろん今回参加出来なかった方も誘い是非共参加いただこうお願いします。我々今年から来年にかけ全員が「後期高齢者」というレッテルを張られますが、元気で若い人に負けな

いで活動されている方が多くおられます。小生思うに『継続は力なり』だと思います。自分のできる範囲で無理をせずコツコツと少しずつでも毎日続ける事が元気な秘訣だと思います。同窓生の皆さんお元気で長生きしましょう。



神宮の森に こだまする 山城高校歌

山城高18回

中尾 四郎

令和初の「関東山城組18」（18回卒の首都圏在住者で構成）のランチ会は十月二十六日、十五人の参加者を迎え開かれた。会場は明治神宮に近い某化学メーカーの社内施設。前回の東京五輪、私たちは二年生で青春真っ只中。昭和、平成、そして令和の世となっても仲間との絆は変わらない。

同期会皆勤の関谷春子さんの発声で乾杯。乗馬が趣味の佐々田芳枝さんは、地元・湘南の銘菓を一人ひとりにプレゼント。元柔道部の宮尾正純君は初参加ながら五十年余を一気にタイムスリップ、「柔道一直線」の汗臭い青春を熱く語る。「入試も合格発表も紫野高校だった」中村清美さん、今では関東山城組の有力メンバーだ。佐古田正昭君の尽力で拝借した会場もすこぶる好評。一流シェフによる

フランス料理のフルコースを堪能、ワインも美味しくいただきました。至福の三時間が過ぎたことに感謝。
最後に校歌「双ヶ岡に鐘鳴りて」を高橋博道君の指導よろしく全員で斉唱、来夏の東京五輪後の再会を誓って散会した。(写真は寺島竹夫氏提供)

参加者は以下の方(旧姓、敬称略)
宇多川隆、井元俊二、宮尾正純、寺島竹夫、三谷文夫、高橋博道、佐古田正昭、中尾四郎、関谷春子、佐々田芳枝、杉浦あや子、大橋文子、土屋悦子、大石恵子、中村清美



ラグビー部OB 中村良樹君を偲ぶ

山城高19回

土井 克己

平成31年3月22日、同期の中村良樹君の訃報を奥様より受けました。信じられない！まさか！うそや！わずか2か月半前の1月3日に「ラグビー部ベテランOB新年会」で一緒に呑んだばかりやったのに！その時はいつになく日本酒をたくさん呑み、そしてよくしゃべった。帰り際、JR京都駅のホームまで肩を組んで見送った。それが中村良樹君(以下、良樹と呼ばせていただく)の最後になるとは！良樹は誰からも「良樹」と呼ばれていた。後輩からはさん付けで呼ばれていたようだった。

我々「山城高ROB倶楽部」19期メンバーは卒業時12名いたが、今回の良樹を含めて既に4名が逝去しています。これまでは同期メンバーだけで各故人の「偲ぶ会」を行っていましたが、良樹は幅広



中村良樹さん

い年代のOBとつながりを持っていたので「偲ぶ会」の参加者の範囲を広げました。彼は多くの人に愛され、親しまれていたもので、ラグビー部関係者の他に、幼馴染みや同窓生にも声をかけました。奥様の恵さんも山城の同窓生で恵さんのご友人にも参加していただきました。令和元年5月12日、「中村良樹君を偲ぶ会」をメルパルク京都6階楓の間で開催しました。出席者34名。良樹の人のつながりの広さを感じました。

良樹のラグビーに対する情熱は現役時代から亡くなるまで、変わることはありませんでした。「山城高ROB倶楽部」に多額の寄付をし、毎年のOB総会には欠かさず出席し、総会後の二次会で良樹独自のラグビー論を展開していました。残念ながら最近の山城高校ラグビー部の現状…部員ゼロには愕

然としていました。我々の現役時代も部員数が少なくなつて廃部の危機に見舞われたこともありましたが、当時のキャプテンである良樹の強い意志でその現状を打開したことがありました。

彼がいつも口ぐせのように言っていた「走ったら治る！」という気合の言葉！部員が練習をサボらないよう、休まないように常に強い口調で言っていたこの言葉が私たちラグビーの現役時代の名言であつたと思います。実際、風邪気味の時、休みたい気持ちを抑えて練習で走り込んだら治っていたこともありました。

そんなラグビーに対する強い思い入れから顧問の先生とも少なからず衝突があつたことも事実です。それでも先生や先輩たちを尊敬し、後輩には優しく、私や同輩に対しては厳しい現役時代でした。

卒業後もラグビーに熱意を持ち続けた良樹の声掛けで、私もOB会に出席するようになり、その過程で私が同期の集まりを主催するようになりました。

平成31年4月、宝ヶ池のラグビー場にて「京都高校ラグビーOB40

歳以上の大会」で、山城高校のラグーマンは全員がジャージに喪章をつけ試合前に黙祷をしてから試合に臨み、3試合中2勝1引き分けという報告を、後輩の亀井裕君（山城39回）から受けた時は、おおいに泣きました。良樹は天国で泣いて喜んでいいると思います。

4年後の創部100周年を良樹の「ラグビー愛」を元に意義あるものにしたいと思っています。

最後に、「中村良樹君を偲ぶ会」の実現に向けて会場を提供していただいた渡部同窓会会長と多岐にわたって惜しめない協力をいただいた良樹の高校時代の友人である中村美知子さん（京三中・山城高同窓会常任理事）に心より感謝いたします。また、山城卒の先輩でもある良樹のご尊兄、長平さんにもご出席をいただきました。

参加していただいたみなさんに囲まれて、良樹の遺影が笑っているようにでした。

良樹！ また一緒にみんなで呑もうな…



早稲田高等学院 対 山城高等学校
ラグビー試合記念
1966年12月22日 於・東伏見早大ラグビー場



（左から）細野校長、ザビーネ先生、渡部会長

2018年夏は山城高校から10名の生徒がフィルダーベンデン高校を訪れた。2008年以来3度目のドイツ訪問となった。2005年から始まったギムナジウム・イン・フィルダーベンデン

ドイツ、フィルダー
ベンデン高校からの
8回目の訪問

同窓会常任理事
山城高19回

中村 美知子



お箸も器用に和食体験

高校との学校交流、その後姉妹校提携。

この秋にはドイツから8回目の訪問を受けた。10月21日(月)の午後京都到着。同日授業終了後学内にて歓迎セレモニー。翌日は「即位の礼」で祭日となっていたので本校生徒たちとドイツ生徒が保津峡から嵐山への合同ハイキング。水曜日から学校での授業が始まった。続く金曜日の授業終了後、ドイツの生徒たち16名、先生2名と学校スタッフ数名が南禅寺「桜鶴苑」に招待を受けた。世界遺産である日本料理をドイツの生徒たちに紹介したいとの同窓会会長の渡

部氏のご厚志であった。初めに料理長から和食に関する伝統、食材、料理法等の説明を受け、その後次々と供される京料理を写真に撮ったり味わったりで初めての体験を満喫していた。

最後にライトアップされた庭園を拝見、足元を照らす路地を通って配車されたバスでホテルに戻った。

授業内容は英語、数学に加え書道、茶道教室や化学の実験など。週末は時代祭観賞と市内見学等自由行動となった。

31日午後、お別れセレモニーで仲良くなった両校の生徒たちはメール交換、ドイツの生徒たちは寄せ書きの

色紙やお土産をもらったりして別れを惜しんだ。
Auf Wiedersehen! またの再会を期して。



歓迎セレモニー

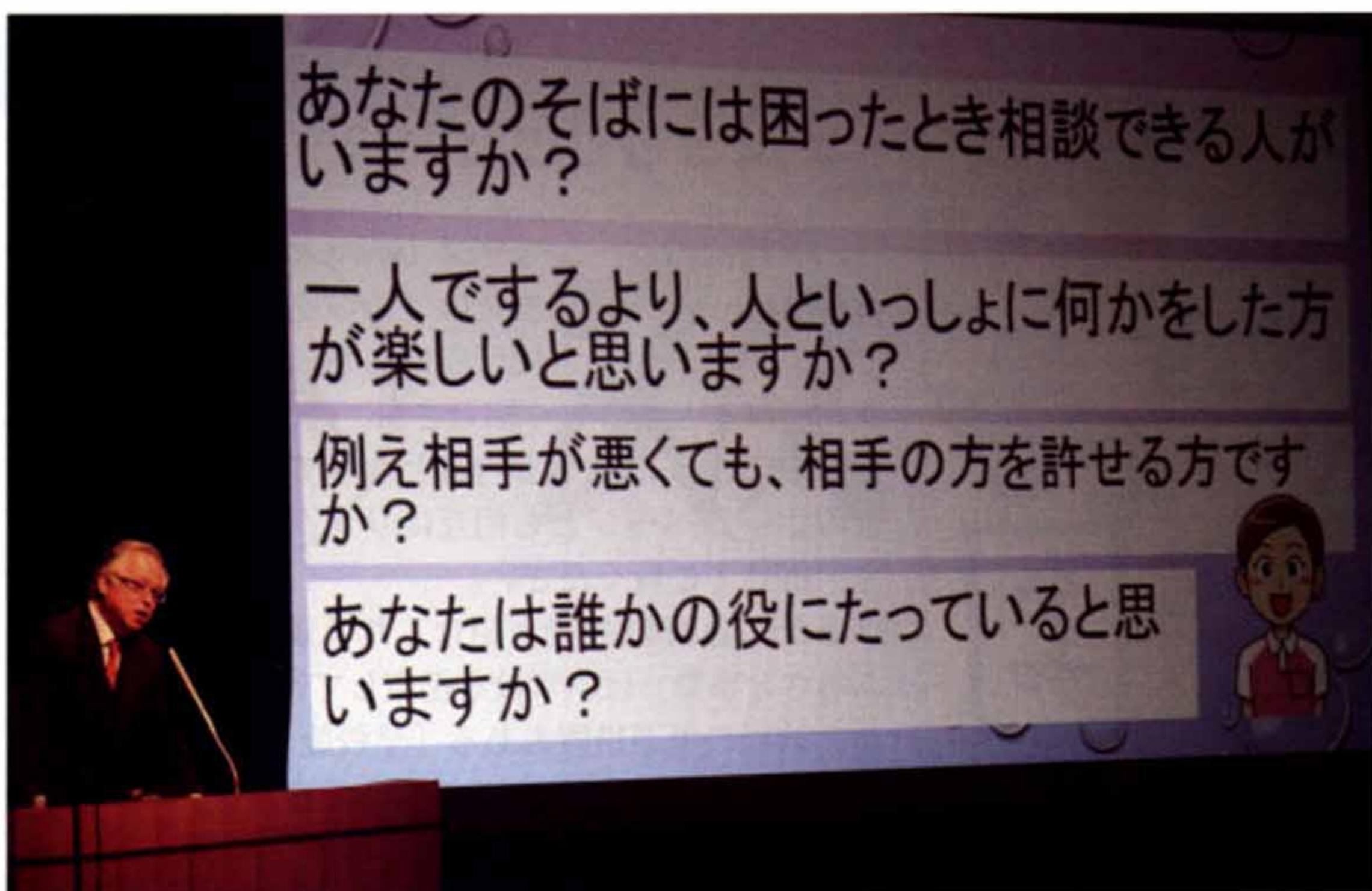
山城21世紀塾の講師を務めて

滋賀大学大学院
教育学研究科 教授
山城高27回

田村 靖二



去る11月14日、母校の1年生を対象に、お話をする機会をいただきました。現在大学院で若い学生に講義をしているものの、高校生には、どのようなお話が良いか随分悩みました。悩み多い思春期を



あなたのそばには困ったとき相談できる人がいますか？

一人でするより、人といっしょに何かをした方が楽しいと思いますか？

例えば相手が悪くても、相手の方を許せる方ですか？

あなたは誰かの役にたっていると思いますか？

迎える時期でもあり、生き方に焦点をあて「主観的幸福感と共生社会」をテーマにお話をしました。多様な経験のなか、今後ご活躍される後輩に期待を込め、自身の在り方や個性が生かされる社会の

実現に向けお話しし、「あつ」という間の60分でした。講演後には、熱心な生徒さんからご質問もいただき、また丁寧な御礼を賜り、私にとっては、貴重な時間となりました。

100年を超える歴史と伝統をもつ山城高校で学ばれる生徒さんには、自信と誇りをもって文武両道に励まれることを期待しています。このような機会を与えていただきました関係者の方々に心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。



紅燃碑追悼式と引き継ぎ

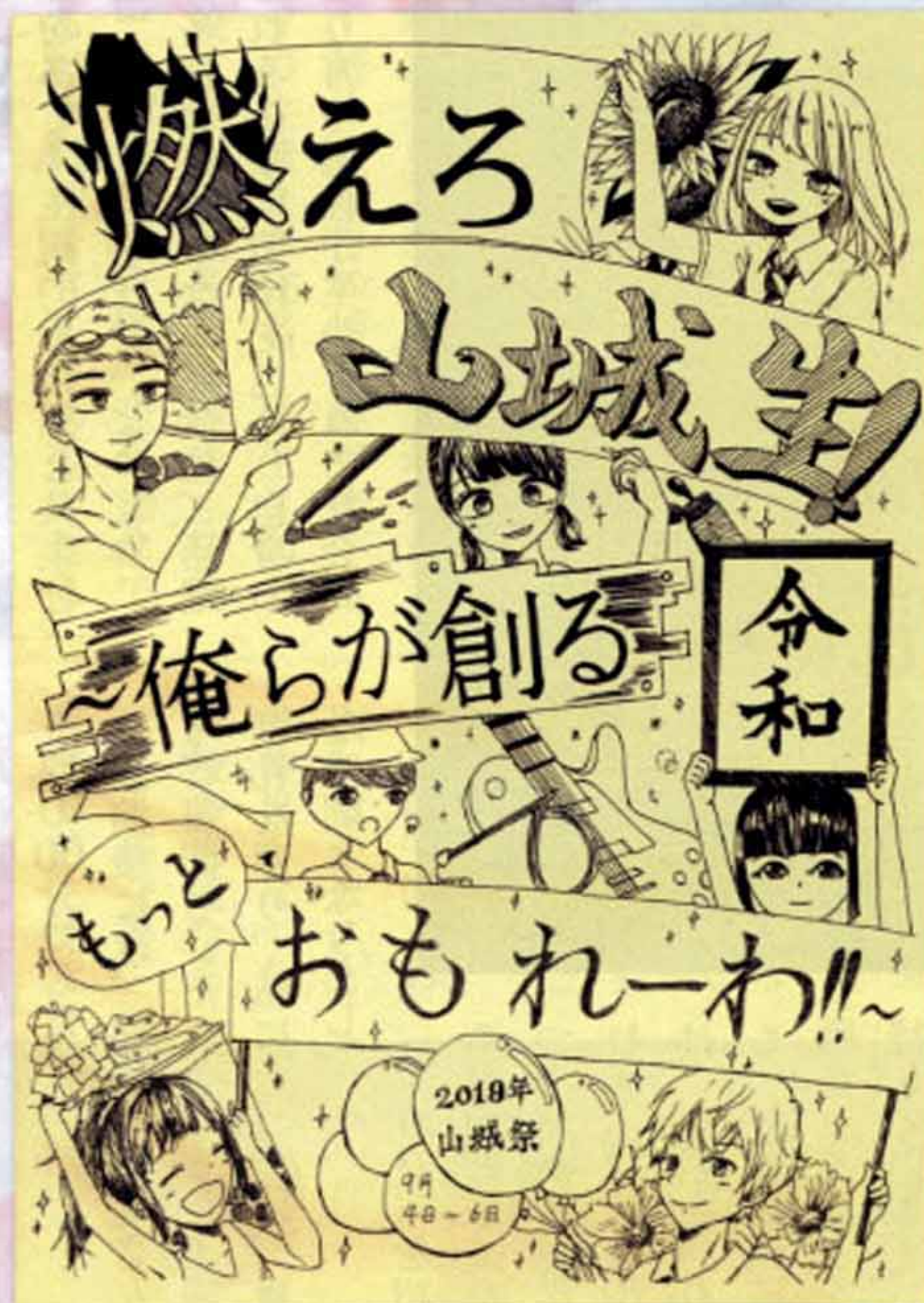
12月7日(土) 午前10時から、山城高校中庭北東角の慰霊碑「紅燃」に、献花、献饌し、京三中校歌を斉唱の後、黙祷し、1944年、勤労動員先で東海地震の犠牲となった13人の三中生を追悼しました。今回を最後に、毎年の紅燃碑の追悼行事は、京三中37回卒有志の方々から、同窓会役員に引き継がれました。

年度理事総会と懇親会

2019年度総会は5月11日(土)、メルパルク京都にて開催しました。定例の議事後の懇親会では、各年度の同窓会開催の報告、バスケットボール部、サッカー部の記念会開催のお知らせなど、年度を超えたにぎやかな交流となり、京三中と山城高の校歌を斉唱し、次回の元気な再会を誓って散会しました。

2020年度の理事総会・懇親会は5月16日(土)午後6時から、メルパルク京都5階にて開催します。多数のご出席をお待ちしております。





母校をもり立てていくために

山城高校のホームページ (www.kyoto-be.ne.jp/yamashiro-hs/mt/) または「山城高校」で検索) では、教育内容や学校行事はもちろん、部活動や進路実績なども詳しく紹介され、母校の「いま」が手に取るように分かる内容となっています。同窓会のホームページとも相互にリンクしていますので、併せてご覧ください。

また、会報13号でも紹介した「京都府母校応援ふるさと事業」は、学校を指定して寄付ができるほか、納税の優遇措置もある「学校版ふるさと納税」とも言える制度です。皆さまのご協力をお願いいたします。

左の画像は2019年度の「山城祭」のパンフレットの表紙です。毎年メインテーマを決め、それに沿った生徒たち手づくりの多彩な企画、パフォーマンスが展開されています。後輩たちの青春の輝きをご覧ください。

(編集担当)

編集後記

同窓会報「双ヶ丘」は、回を重ね第14号を迎えることができました。今号から装いを改め、また、同窓会名簿ができたのを機に、お届け先の分かる限り全ての同窓生にお送りすることとしました。誌面の制約はありますが、なるだけ多彩な内容のものにしていきたいと思っています。各年次の同窓会の報告、同窓生のお店の紹介などの情報を、同窓会・編集担当までお知らせください。

※寄稿は全て2019年中に執筆されたものです。

京三中・山城高同窓会報

「双ヶ丘」第14号 (非売品)

2020年2月28日発行

京三中・山城高同窓会事務局

〒603-8335

京都市北区大將軍坂田町29

京都府立山城高等学校内

(075) 463-1004

[http://www.yamashirokou-](http://www.yamashirokou-dousoukai.com)

[dousoukai.com](http://www.yamashirokou-dousoukai.com)

発行人 同窓会会長・渡部隆夫

編集人 山城28回・中村哲也

京都府立第三中学校 校歌

一 朝に仰ぐ秀嶺愛宕
夕に掬ふ清流桂
山河自然の靈氣を享けて
集ふ双陵健児一千
おお三中その名ぞ
我らが誇り

二 誠実天の聖火とかかげ
剛健地の威徳とたたへ
崇文尚武ただ一途に
競ふ姿の雄々しさ見よや
おお三中その名ぞ
我らがまもり

三 進取不断の光と待み
協同不壊の翼と張りて
若き生命の日に新しく
理想の空ゆく羽音を聴けや
おお三中その名ぞ
我らが力

四 歴史はにほふ古き都に
繚乱誇る桜の徽章
護りてとはに祖国の幸を
拓かん我らが大きな使命
おお三中その名ぞ
我らがいのち

京都府立山城高等学校 校歌

一 双ヶ丘に鐘鳴りて
流れさやけき桂川
御室のさくら咲き匂ふ
学びの家のたふとさよ
正義真実責任の
命みなぎるわれら山城
愛宕の峰に雲暗れて
日かげさしそふ西の京
嵯峨野をわたる風清き
学びの園のめでたさよ
平和協力友愛の
光あまねきわれら山城